

北海道景観審議会議事概要

平成 29 年 2 月 24 日

【開催状況】

会 議 名	第 41 回北海道景観審議会
開 催 日 時	平成 29 年 2 月 23 日（木） 15:30～15:20
開 催 場 所	かでの 2・7 1010 会議室
出席委員数	15 名中 12 名

【議事】

(1) 北海道景観形成ビジョン見直しに向けた検討について	<p>道から、北海道景観形成ビジョンの概要、見直しの経緯、スケジュール、及び施策の進捗状況について説明。</p> <p>〈委員から意見〉</p> <ul style="list-style-type: none">・ 個別の取組がどういった景観づくりにつながったのか、効果面を総括した方が議論につながる・ 景観行政については地域によって盛り上がりには差があり、道が主導して意識共有を図る必要がある・ 景観を守るより経済が先だといわれることもあるが、一方で北海道に多くのインバウンドがあるのは景観があるからだ・ 観光地でなくても、駅前の空き店舗問題は景観上の課題であり、さびれた地域の人でこそ、まちの景観を考えてはどうか・ 森づくりや地域づくり、空き家対策等の取組を「景観」のキーワードでつなぎ、連携・協働の方法を検討することが重要だ・ 条例による規制の上乗せや指導、協議といった手法を含め、現行法制度で何ができるかを整理する必要がある・ 景観行政団体である市町村の割合が全国と比べなぜ少ないのかなど、課題を整理する必要がある、道庁の景観行政では何ができるのか、論点を絞って考えるべきだ
(2) 中標津町の景観行政団体移行について（報告）	道から、中標津町の景観行政団体移行について報告。